

2024年
大分県鉱工業の生産動向

令和8年1月6日公表

大分県企画振興部統計調査課

(1) 概況

2024年の大分県鉱工業生産指数（2020年=100）は、103.3で前年比▲7.6%となり、4年ぶりに低下した。

全国の生産指数は101.2で前年比▲10.0%となり3年連続の低下となった。

九州の生産指数は106.1で前年比▲2.6%となり、4年ぶりの低下となつた。

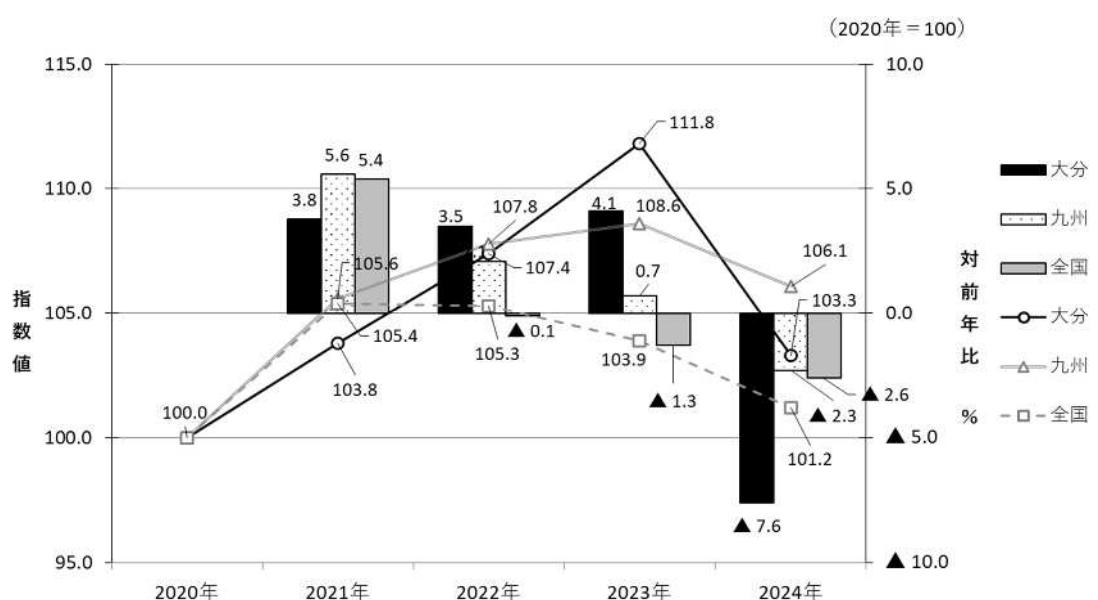
大分県の生産指数を業種別にみると、前年に比べ、汎用・生産用・業務用機械工業、非鉄金属・金属製品工業、食料品工業の3業種が上昇し、輸送機械工業、化学・石油製品工業、電子部品・デバイス工業などの10業種が低下した。（統計表第1表）

特殊分類別（財別）では、最終需要財は前年比▲7.6%と4年ぶりに低下し、生産財は前年比▲7.8%と4年ぶりに低下した。（統計表第13表）

出荷指数は、99.4で前年比▲8.4%となり、4年ぶりに低下した。業種別にみると、前年に比べ、汎用・生産用・業務用機械工業、食料品工業、鉱業の3種が上昇し、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業、化学・石油製品工業などの10業種が低下した。（統計表第2表）

在庫指数は、107.5で前年比+3.3%となり、2年連続で上昇した。業種別にみると、前年に比べ、その他工業、化学・石油製品工業、食料品工業、窯業・土石製品工業が上昇し、プラスチック製品工業、鉱業、汎用・生産用・業務用機械工業が低下した。（統計表第3表）

図1 生産指数及び対前年比の推移



資料：統計表第1表

① 生産活動の特徴

(ア) 生産指数は4年ぶりに低下

2024年の生産指数は103.3で前年比▲7.6%となり、4年ぶりに低下した。

(イ) 3業種が上昇、10業種が低下

2024年の生産指数を業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械工業が3年ぶりに上昇するなど、13業種中3業種が上昇した。一方、輸送機械工業が3年ぶりに低下するなど、10業種が低下した。（統計表第1表）

上昇した業種は、汎用・生産用・業務用機械工業（対前年比+2.1%）、非鉄金属・金属製品工業（同+1.2%）、食料品工業（対前年比+0.7%）などであり、低下した主な業種は、輸送機械工業（同▲32.2%）、化学・石油製品工業（同▲15.2%）、電子部品・デバイス工業（同▲15.1%）などである。

② 四半期別の動向

表1は、2024年の四半期別生産指数の推移を示したものである。

大分県の生産指数は、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期が前期比で低下したが、Ⅳ期は前期比で上昇した。

業種別四半期別の動向は、4ページ表2のとおりである。

表1 四半期別生産指数（季節調整済指数）の推移（2020年=100）

区分	全国		九州		大分		
	指 数	前期比(%)	指 数	前期比(%)	指 数	前期比(%)	前年同期比(%)
2024年Ⅰ期	99.0	▲ 5.2	105.3	▲ 2.9	106.2	▲ 0.1	▲ 8.3
Ⅱ期	101.1	2.1	106.0	0.7	103.1	▲ 2.9	▲ 9.2
Ⅲ期	101.4	0.3	105.2	▲ 0.8	99.4	▲ 3.6	▲ 11.8
Ⅳ期	101.8	0.4	106.6	1.3	104.1	4.7	▲ 1.2

（注）前年同期比は原指数をもとに算出。

資料：統計表第10表

〈四半期別動向の詳細〉

(ア) I期

生産指数は、106.2で前期比▲0.1%と低下し、この期は、全13業種中5業種が上昇、8業種が低下となった。

上昇した主な業種は、非鉄・金属製品工業（前期比+22.3%）、汎用・生産用・業務用機械工業（同+4.3%）、鉄鋼業（同+2.7%）などである。

一方、低下した主な業種は、輸送機械工業（前期比▲47.3%）、プラスチック製品工業（同▲13.0%）、電気・情報通信機械工業（同▲8.9%）などである。

(イ) II期

生産指数は、103.1で前期比▲2.9%と低下し、この期は、全13業種中5業種が上昇、8業種が低下となった。

上昇した主な業種は、輸送機械工業（前期比+25.0%）、汎用・生産用・業務用機械工業（同+9.2%）、その他工業（同+3.5%）などである。

一方、低下した主な業種は、電気・情報通信機械工業（前期比▲10.7%）、窯業・土石製品工業（同▲7.9%）、パルプ・紙・紙加工品工業（同▲7.3%）などである。

(ウ) III期

生産指数は、99.4で前期比▲3.6%と低下し、この期は、全13業種中6業種が上昇、7業種が低下となった。

上昇した主な業種は、輸送機械工業（前期比+16.8%）、電気・情報通信機械工業（同+6.8%）、窯業・土石製品工業（同+3.8%）などである。

一方、低下した主な業種は、化学・石油製品工業（前期比▲18.5%）、プラスチック製品工業（同▲16.1%）、汎用・生産用・業務用機械工業（同▲7.4%）などである。

(エ) IV期

生産指数は、104.1で前期比4.7%と上昇し、この期は、全13業種中8業種が上昇、5業種が低下となった。

上昇した主な業種は、化学・石油製品工業（前期比+40.4%）、輸送機械工業（同+7.1%）、鉄鋼業（同+6.8%）である。

一方、低下した主な業種は、窯業・土石製品工業（前期比▲6.1%）、その他工業（同▲4.3%）、電気・情報通信機械工業（同▲2.7%）などである。

表2 業種別四半期別生産指数（季節調整済指數）の推移

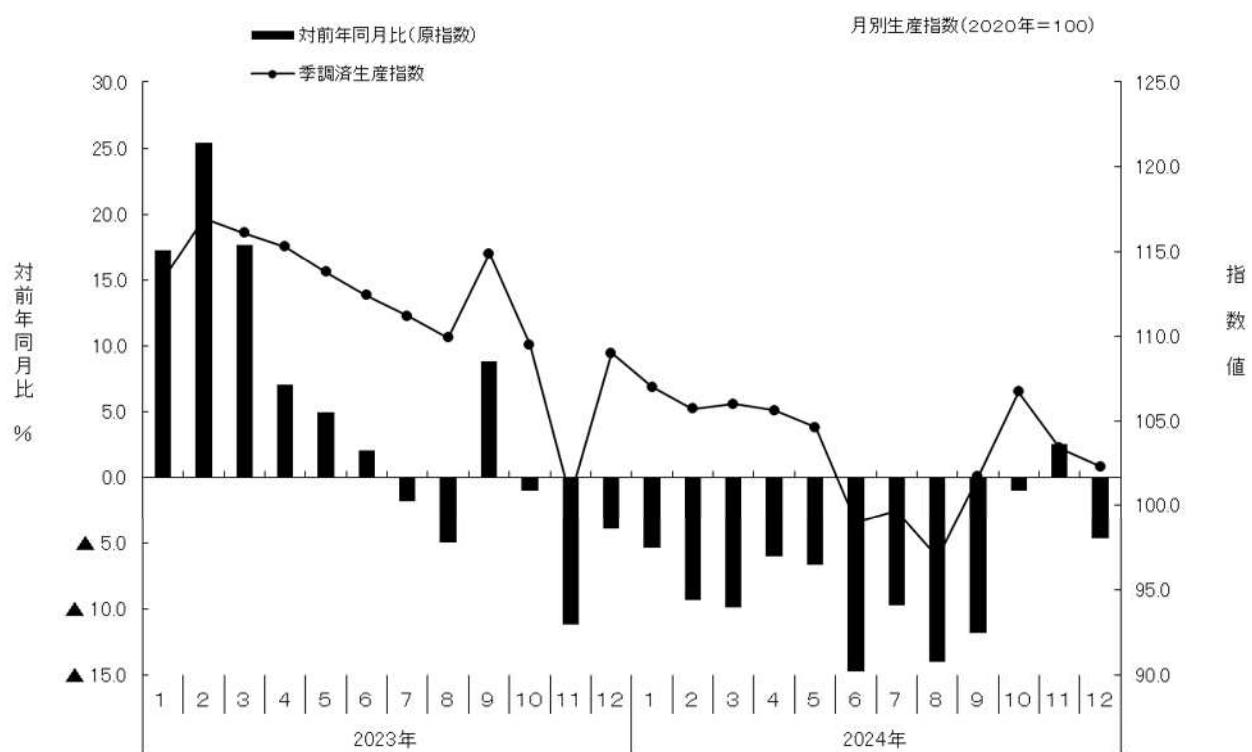
業種別	生産指數				前期比（%）			
	2024年				2024年			
	I期	II期	III期	IV期	I期	II期	III期	IV期
鉱工業	106.2	103.1	99.4	104.1	▲ 0.1	▲ 2.9	▲ 3.6	4.7
製造工業	106.4	103.2	99.4	104.1	0.0	▲ 3.0	▲ 3.7	4.7
鉄鋼業	104.4	103.6	97.2	103.8	2.7	▲ 0.8	▲ 6.2	6.8
非鉄金属・金属製品工業	102.4	98.2	97.1	97.7	22.3	▲ 4.1	▲ 1.1	0.6
汎用・生産用・業務用機械工業	99.2	108.3	100.3	100.0	4.3	9.2	▲ 7.4	▲ 0.3
電子部品・デバイス工業	154.2	144.5	135.7	132.0	▲ 7.1	▲ 6.3	▲ 6.1	▲ 2.7
電気・情報通信機械工業	131.5	117.4	125.4	122.0	▲ 8.9	▲ 10.7	6.8	▲ 2.7
輸送機械工業	57.5	71.9	84.0	90.0	▲ 47.3	25.0	16.8	7.1
窯業・土石製品工業	108.2	99.6	103.4	97.1	0.2	▲ 7.9	3.8	▲ 6.1
化学・石油製品工業	104.0	101.3	82.6	116.0	▲ 5.2	▲ 2.6	▲ 18.5	40.4
プラスチック製品工業	124.3	121.5	101.9	105.2	▲ 13.0	▲ 2.3	▲ 16.1	3.2
パルプ・紙・紙加工品工業	97.2	90.1	91.3	95.6	▲ 1.3	▲ 7.3	1.3	4.7
食料品工業	101.9	104.4	101.2	102.7	1.4	2.5	▲ 3.1	1.5
その他工業	95.5	98.8	98.9	94.6	▲ 7.4	3.5	0.1	▲ 4.3
繊維工業	92.7	91.0	81.2	89.9	7.8	▲ 1.8	▲ 10.8	10.7
家具・木材・木製品工業	100.7	91.1	98.6	90.6	2.9	▲ 9.5	8.2	▲ 8.1
印刷業	90.0	94.4	92.6	90.1	▲ 6.9	4.9	▲ 1.9	▲ 2.7
その他製品工業	99.5	122.9	118.1	106.8	▲ 21.2	23.5	▲ 3.9	▲ 9.6
鉱業	88.9	89.7	92.9	93.8	▲ 5.1	0.9	3.6	1.0

(2020年=100)

資料：統計表第10表

参考

図2 月別生産指数（季節調整済指数）の推移



資料：統計表第7表

③ 業種別寄与度

総合の増減分に対して、その内訳である業種の増減分がどの程度影響を与えたかを示したものが寄与度である。

2024年の生産指数は、前年比▲7.6%と低下した。この増減に対して上昇に寄与したものが2業種、低下に寄与したものが8業種、横ばいとなったものが3業種となっている。

上昇に寄与した業種は、非鉄金属・金属製品工業（寄与度+0.2%）、汎用・生産用・業務用機械工業（同+0.2%）である。

一方、低下した主な業種は、化学・石油製品工業（寄与度▲2.7%）、輸送機械工業（同▲2.4%）、電子部品・デバイス工業（同▲2.1%）などである。

また、図3はその年の生産指数の増減分に対する業種別の寄与度について、2021年以降の推移を示したものである。

表3 業種別寄与度（2024年）

業種別	寄与度(%)
鉱工業	▲7.6
製造工業	▲7.7
鉄鋼業	▲0.3
非鉄金属・金属製品工業	0.2
汎用・生産用・業務用機械工業	0.2
電子部品・デバイス工業	▲2.1
電気・情報通信機械工業	▲0.1
輸送機械工業	▲2.4
窯業・土石製品工業	▲0.3
化学・石油製品工業	▲2.7
プラスチック製品工業	▲0.3
パルプ・紙・紙加工品工業	0.0
食料品工業	0.0
その他工業	▲0.1
繊維工業	0.0
家具・木材・木製品工業	0.0
印刷業	▲0.1
その他製品工業	0.0
鉱業	0.0

注1) 本表は業種ごとに四捨五入しているので

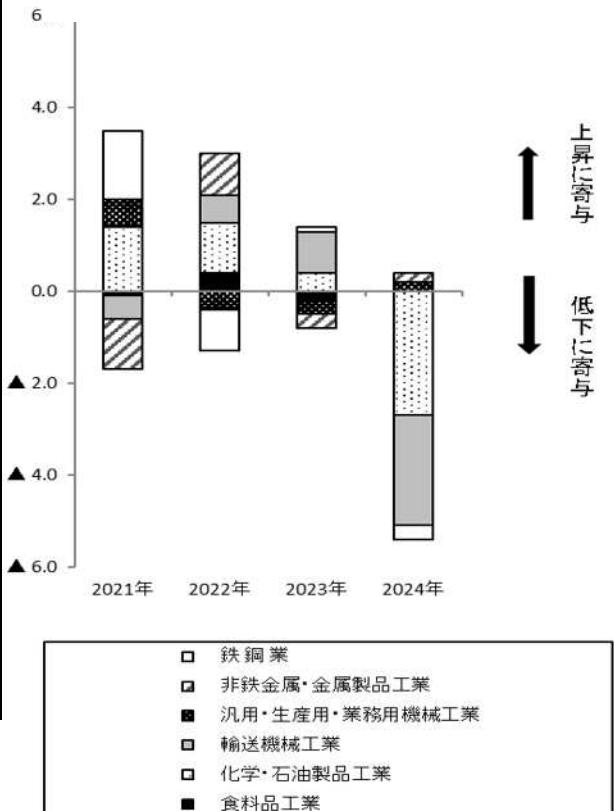
内訳と合計が一致しないことがある。

注2) 寄与度は[伸び率]×[前年指數]×[ウエイト

構成比)]÷[前年の総合指數]で計算している。

図3 総合の増減分に対する

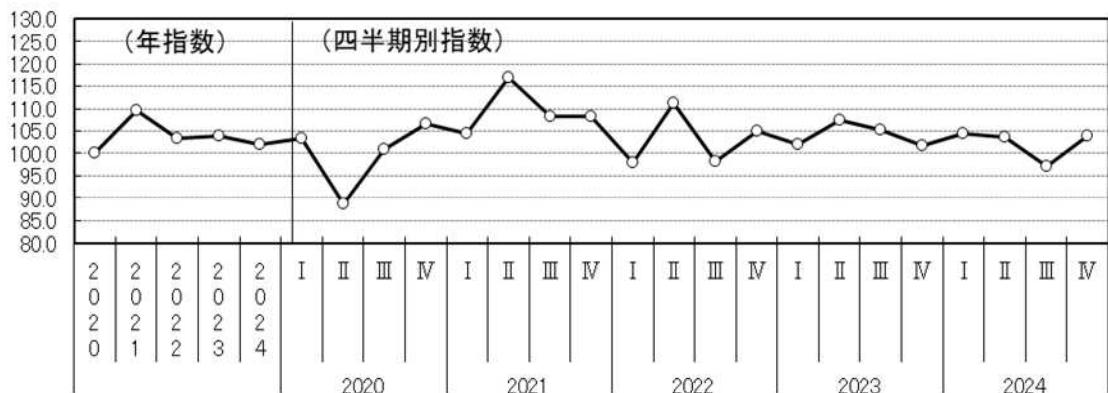
業種別寄与度の推移（主要業種）



(2) 業種別の生産動向

[年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期別指数及び前期比は季節調整済指標 2020年=100]

① 鉄鋼業



2024年の鉄鋼業の生産指数は102.0で、前年比▲1.8%と2年ぶりに低下した。

[鉄鋼業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2024年	102.0	-	▲1.8
I期	104.4	2.7	1.8
II期	103.6	▲0.8	▲2.2
III期	97.2	▲6.2	▲7.1
IV期	103.8	6.8	0.1

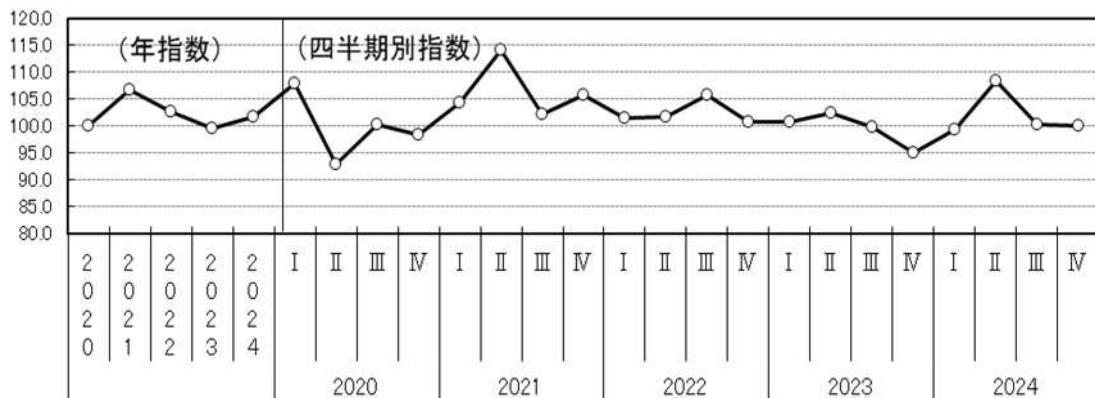
② 非鉄金属・金属製品工業



2024年の非鉄金属・金属製品工業の生産指数は99.2で、前年比+1.2%と2年ぶりに上昇した。

[非鉄金属・金属製品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2024年	99.2	-	1.2
I期	102.4	22.3	▲1.3
II期	98.2	▲4.1	▲4.3
III期	97.1	▲1.1	▲0.2
IV期	97.7	0.6	13.7

③ 汎用・生産用・業務用機械工業



2024年の汎用・生産用・業務用機械工業の生産指数は101.7で、前年比+2.1%と3年ぶりに上昇した。

[汎用・生産用・業務用機械工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2024年	101.7	-	2.1
I期	99.2	4.3	▲4.8
II期	108.3	9.2	6.9
III期	100.3	▲7.4	2.6
IV期	100.0	▲0.3	3.9

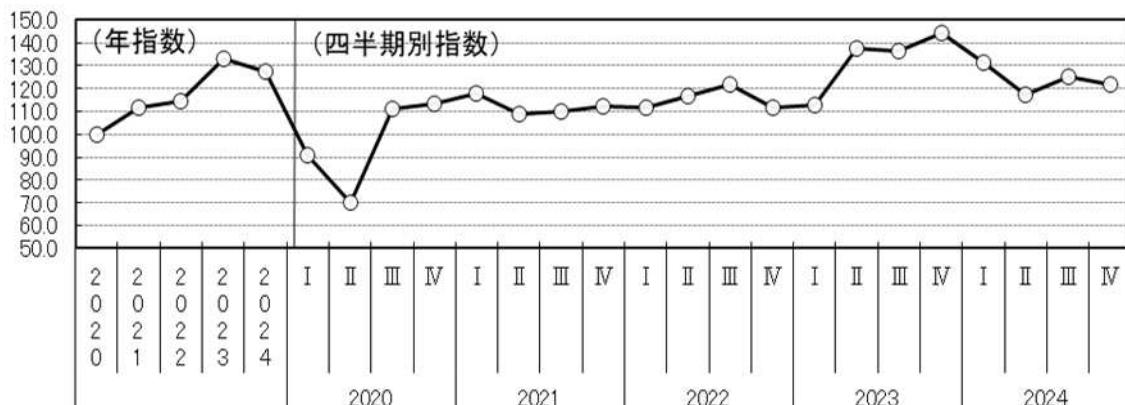
④ 電子部品・デバイス工業



2024年の電子部品・デバイス工業の生産指数は141.4で、前年比▲15.1と4年ぶりに低下した。

[電子部品・デバイス工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2024年	141.4	-	▲15.1
I期	154.2	▲7.1	▲4.0
II期	144.5	▲6.3	▲16.4
III期	135.7	▲6.1	▲18.9
IV期	132.0	▲2.7	▲20.4

⑤ 電気・情報通信機械工業



2024年の電気・情報通信機械工業の生産指数は127.3で、前年比

▲4.2%と4年ぶりに低下した。

[電気・情報通信機械工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2024年	127.3	-	▲4.2
I期	131.5	▲8.9	18.0
II期	117.4	▲10.7	▲13.8
III期	125.4	6.8	▲7.2
IV期	122.0	▲2.7	▲9.1

⑥ 輸送機械工業

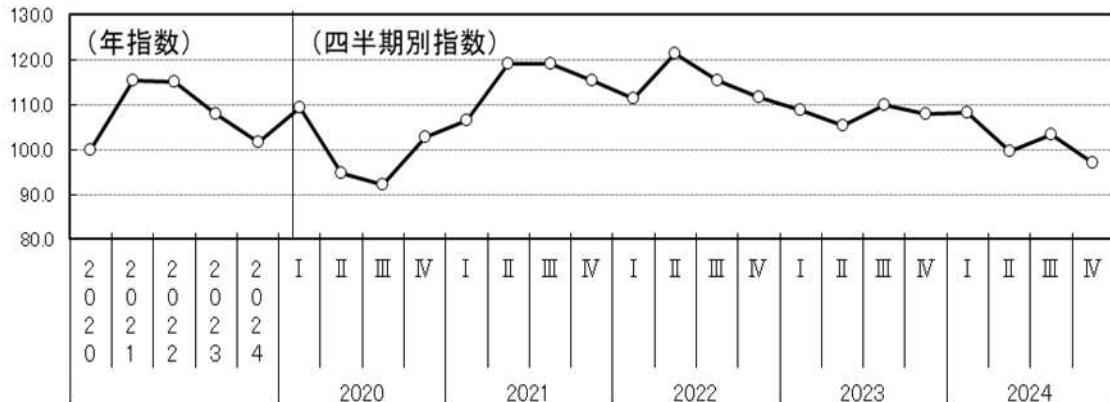


2024年の輸送機械工業の生産指数は76.9で、前年比▲32.2%と

3年ぶりに低下した。

[輸送機械工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2024年	76.9	-	▲32.2
I期	57.5	▲47.3	▲55.7
II期	71.9	25.0	▲38.2
III期	84.0	16.8	▲22.5
IV期	90.0	7.1	▲11.0

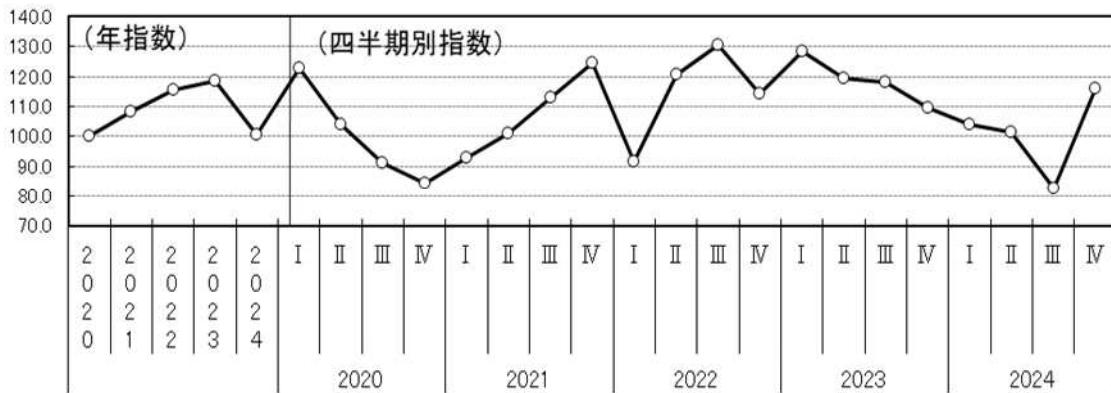
⑦ 窯業・土石製品工業



2024年の窯業・土石製品工業の生産指数は101.6で、前年比▲5.9%と3年連続で低下した。

[窯業・土石製品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2024年	101.6	-	▲5.9
I期	108.2	0.2	▲0.2
II期	99.6	▲7.9	▲6.2
III期	103.4	3.8	▲5.1
IV期	97.1	▲6.1	▲11.2

⑧ 化学・石油製品工業



2024年の化学・石油製品工業の生産指数は100.4で、前年比▲15.2%と4年ぶりに低下した。

[化学・石油製品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2024年	100.4	-	▲15.2
I期	104.0	▲5.2	▲16.5
II期	101.3	▲2.6	▲17.6
III期	82.6	▲18.5	▲32.2
IV期	116.0	40.4	7.8

⑨ プラスチック製品工業

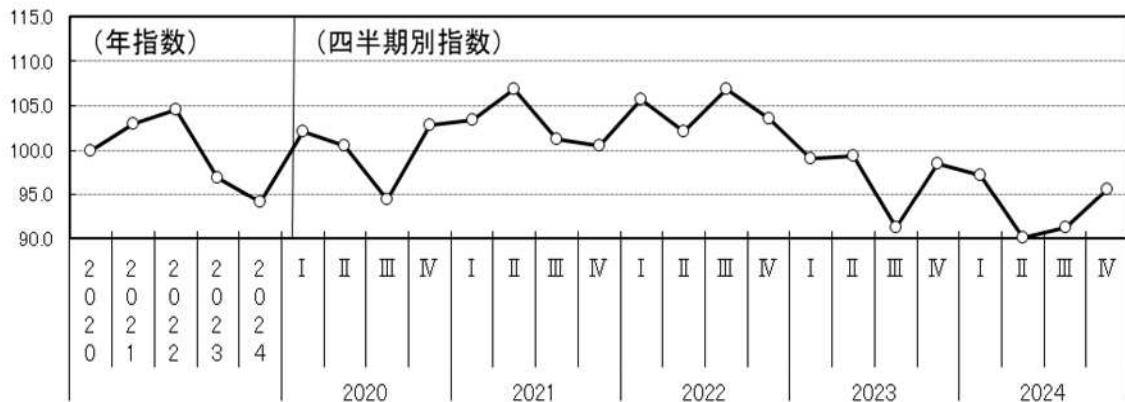


2024年のプラスチック製品工業の生産指数は111.9で、前年比

▲12.5%と3年ぶりに低下した。

[プラスチック製品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2024年	111.9	-	▲12.5
I期	124.3	▲13.0	4.4
II期	121.5	▲2.3	▲9.8
III期	101.9	▲16.1	▲18.9
IV期	105.2	3.2	▲21.9

⑩ パルプ・紙・紙加工品工業



2024年のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数は94.1で、前年比

▲2.9%と2年連続で低下した。

[パルプ・紙・紙加工品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2024年	94.1	-	▲2.9
I期	97.2	▲1.3	0.7
II期	90.1	▲7.3	▲8.8
III期	91.3	1.3	▲1.6
IV期	95.6	4.7	▲1.9

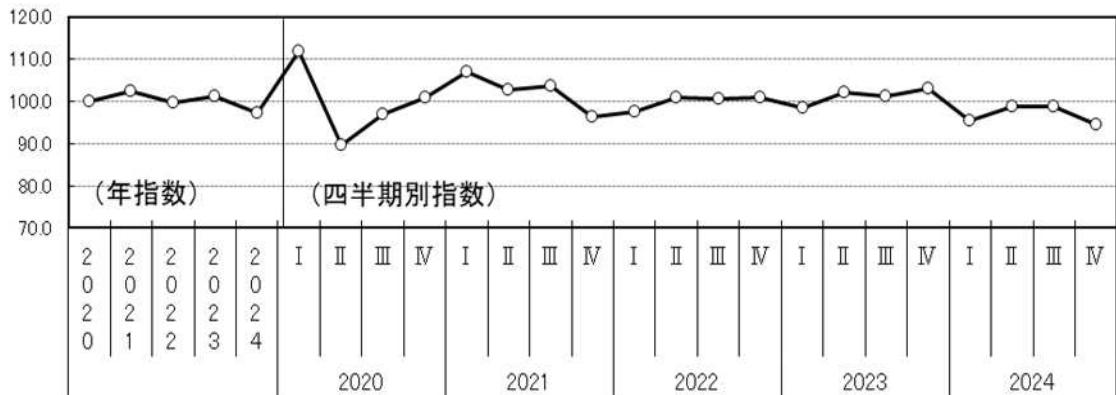
⑪ 食料品工業



2024年の食料品工業の生産指数は103.2で、前年比+0.7%と2年ぶりに上昇した。

[食料品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2024年	103.2	-	0.7
I期	101.9	1.4	▲3.7
II期	104.4	2.5	2.5
III期	101.2	▲3.1	▲0.8
IV期	102.7	1.5	4.0

⑫ その他工業



2024年のその他工業の生産指数は97.3で、前年比▲3.8%と2年ぶりに低下した。

[その他工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2024年	97.3	-	▲3.8
I期	95.5	▲7.4	▲4.4
II期	98.8	3.5	▲3.7
III期	98.9	0.1	▲0.8
IV期	94.6	▲4.3	▲6.1

⑬ 鉱業



2024年の鉱業の生産指数は91.8で、前年比▲2.0%と3年連続で低下した。

[鉱業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2024年	91.8	-	▲2.0
I期	88.9	▲5.1	▲4.4
II期	89.7	0.9	▲7.1
III期	92.9	3.6	2.2
IV期	93.8	1.0	1.1

(3) 特殊分類別（財別）の生産動向

① 最終需要財

2024年の最終需要財の生産指数は、102.5で前年比▲7.6%と4年ぶりに低下した。

注) 最終需要財：鉱工業または他の産業に原材料などとして投入されない最終製品。ただし、建設財を含み、企業消費財を除く。

(ア) 投資財

2024年の投資財の生産指数は、103.5で前年比▲7.7%と4年ぶりの低下となった。内訳をみると資本財の生産指数は、104.1で前年比▲7.8%と4年ぶりの低下となり、建設財の生産指数は、102.6で前年比▲7.3%と4年ぶりの低下となった。

注) 投資財：設備投資や建設資材などに使われるもの。

資本財：投資財のうち、生産設備などの機械類や他の企業設備などに使われるもの。

建設財：鉄骨や橋りょうのように土木・建設関係に使われるもの。

(イ) 消費財

2024年の消費財の生産指数は、101.3で前年比▲7.4%となり、3年ぶりの低下となった。内訳をみると、耐久消費財の生産指数は、81.6で前年比▲25.1%と2年ぶりの低下となり、非耐久消費財の生産指数は108.2で前年比▲1.2%と2年連続の低下となった。

注) 消費財：主として家計で購入される財。耐久消費財とは、耐用年数が1年以上で比較的購入単価が高い財である。非耐久消費財とは、耐用年数が1年未満、または比較的購入単価が安い財である。

② 生産財

2024年の生産財の生産指数は、103.5で前年比▲7.8%と4年ぶりに低下した。

注) 生産財：鉱工業及び他の産業に原材料などとして投入される製品。ただし、輸出用の中間生産物、企業消費財を含み、建設財を除く。

(統計表13表)

表4 特殊分類別（財別）生産指数

(2020年=100)

指数组品目	2024年指数	前年比(%)
鉱工業	103.3	▲ 7.6
最終需要財	102.5	▲ 7.6
投資財	103.5	▲ 7.7
資本財	104.1	▲ 7.8
建設財	102.6	▲ 7.3
消費財	101.3	▲ 7.4
耐久消費財	81.6	▲ 25.1
非耐久消費財	108.2	▲ 1.2
生産財	103.5	▲ 7.8

資料：統計表13表

図4は、2020年以降の特殊分類別（財別）生産指数の推移を表したものである。2024年における最終需要財の生産指数は4年ぶりの低下、生産財についても4年ぶりの低下となった。

図4 特殊分類別（財別）生産指数の推移

(2020年=100)

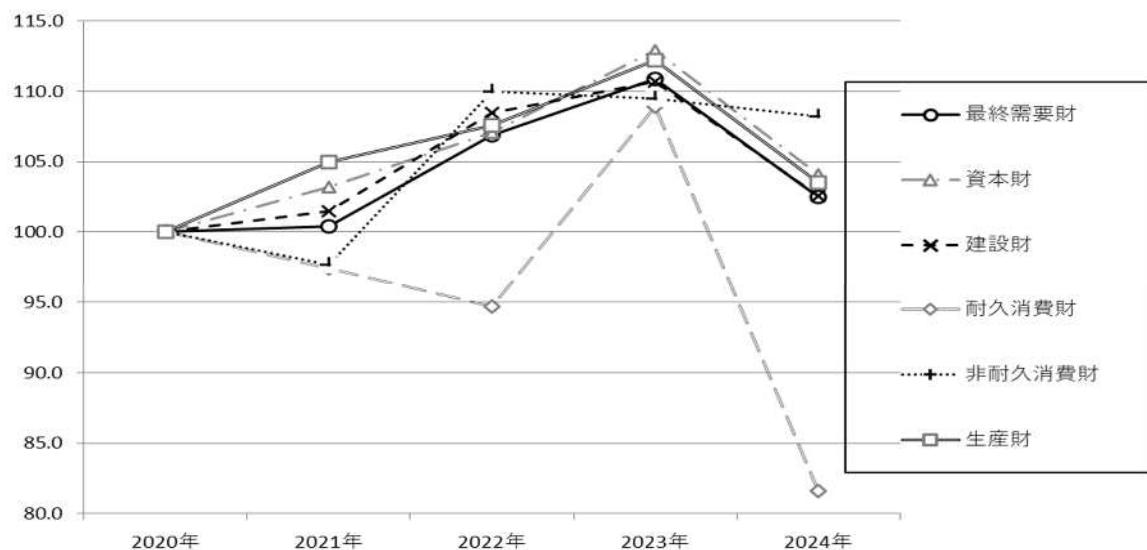


図5は、鉱工業生産指数の増減分に対する財別の寄与度について、2021年以降の推移をまとめたものである。

図5 鉱工業生産指数の増減分に対する財別寄与度の推移

